



あの空の向こうに

瓜生美咲
菅原大吉 竹内都子
島ひろ子 松本優花 真島公平 / 遠藤久美子
織本順吉

企画のねらい

ケータイ・ネット社会と人権～「思い」を交わすコミュニケーション～

私たちが普段何気なく使っているケータイやインターネットがある日突然「凶器」に変わってしまう。ケータイやインターネットによる人権侵害は、いつ、だれの身に起きてても不思議ではない深刻な問題です。だれもが被害者に、そして加害者にもなり得るのです。

このドラマは決してケータイやインターネットを敵視するものではありません。文明の利器を凶器に変えるのも、傷ついた心を癒すのも「人」なのです。本当の意味での心のつながりとはどういうことかを改めて見つめ直し、お互いに「思い」を交わし、心の寄り添うようなコミュニケーションを図ることの大切さと家庭の果たす役割にも気づかせます。

インターネット等の利用にあたっての人権意識・人権感覚の重要性や人と人とのふれ合い・語り合いの大切さを訴え、こころ豊かなコミュニケーション社会をめざして、このドラマを制作しました。



企画／兵庫県・(財)兵庫県人権啓発協会
企画協力／兵庫県教育委員会
製作／東映株式会社

販売価格
(消費税込み)

■ 上映時間 38分 販売価格 84,000円(本体80,000円)

DVD … 字幕副音声版 [C#6047]
ビデオ … 字幕副音声版 [C#6048]
ビデオ … 通常版 [C#6049]



放課後、下校する福永明日香と小坂沙織。明日香はケータイを取り出し、自分のブログの『AS☆KAはあとろぐ』にアクセス。ブログの画面には、明日香が遊び心で載せたスクープ写真と文章。寄せられたコメントを読む2人は一気に表情が強張る。

篠山に住む祖父の弥一からの電話に、元氣なく答える明日香。明日香の様子が気がかりな弥一。福永家の夕食時、明日香の母の千恵美は夫の崇史に、メールばかりしている明日香に意見してくれと頼むが、真剣に取り合ってくれない態度に千恵美の怒りが爆発。



明日香の担任の高遠が福永家を訪問し、明日香が作っているブログの一件を千恵美に知らせる。全く知らなかった千恵美は、愕然とする。高遠は明日香にブログの削除をさとす。明日香のケータイに着信音。メールに添付された盗撮写真を見てショックを受ける千恵美。

祖父の弥一が明日香のことを心配して、篠山から出てくる。崇史と千恵美は明日香のブログのことで夫婦喧嘩を始めてしまう。たまりかねた弥一が「当分、明日香を預かる」と言い出して、明日香は篠山の弥一の家で過ごすことに・・・



篠山の家で、明日香は弥一に「人と話すのは面倒だし疲れる、メールの方が楽だ」と話す。弥一は、人と人とのつながりというものについて、自分の思いを語る。明日香の心の中にたまっていた様々な思いがこみ上げてくる。

豊かな自然の中で、弥一と隣家の嘉子とのふれあいを通して、少しずつ落ち着きを取り戻す明日香。時間と距離を置いた家族は、それぞれが相手の立場に立って考え直す機会であった。それぞれの出した結論とは・・・



学習のねらい

学校や地域の学習会、職場の研修会などで、

- 気軽にケータイやインターネットを使うことが日常化した中、それが常にも人権侵害と隣り合わせにあることを忘れていないか、ネット依存に陥っていないか、自分自身の生活を振り返ってみましょう。
- 本当に豊かなコミュニケーションとはどういうものかを考えるとともに、インターネット等の活かし方について考えてみましょう。
- こころ豊かな社会を形成するために、人を思いやることの重要性を認識し、人と人とのつながり、家庭の果たす役割、地域社会に生きる一員としてのあり方を、私たちの生き方の問題として考えてみましょう。

○スタッフ プロデューサー／鎌田幸人 脚本／山上梨香 監督／高橋 浩